

平成27年度第1回 国土交通省東京航空局 入札監視委員会
審議概要

開催日及び場所	平成27年6月25日(木) 航空局C会議室	
委員	委員長 浅野 正一郎(国立情報学研究所名誉教授) 委員 廣渡 鉄(弁護士) 委員 高田 和幸(東京電機大学教授)	
審査対象期間	平成26年10月1日～平成27年3月31日	
抽出案件	総件数3件	
1. 工 事	一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)	1件
2. 建設コンサルタント業務等	一般競争入札方式	1件
3. 役務及び物品	一般競争入札方式	1件
各委員からの意見・質問、それに対する東京航空局の回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	3. 役務及び物品の審議案件については、次回の入札監視委員会で再度審査とする。	

審議概要

意見・質問	回答
<p>1. 工事（一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）） 東京国際空港第1庁舎機械設備工事</p>	
<p>○VE提案とは何か。 また、VE審査委員会とは何か。</p> <p>○外部の有識者が委員をしているのか。</p> <p>○応札が可能な者は何者いるのか。</p> <p>○技術提案するところが難しいため、多くの者からの参加がなかったものなのか。</p> <p>○評価点の最も高かった者に受注して欲しかったのか。</p> <p>○どれも似たような提案なのか。</p> <p>○全ての参加者の入札が予定価格を上回った場合はどうなるのか。</p> <p>○不落随契となったらどの者と契約するのか。</p> <p>○外部の有識者に意見を聞くべきではないか。</p>	<p>○バリューエンジニアリングの略語であり、技術提案を求め、その提案を審査するため、VE審査委員会を設置している。</p> <p>○委員に外部の有識者はいない。</p> <p>○約67者いることを確認している。</p> <p>○設備業者は単独で提案を提出することが少ないためと思料される。</p> <p>○特定の業者に受注して欲しいというものではない。</p> <p>○評価点が最も高かったものは、提案内容が優れ、内容がわかりやすいものであった。</p> <p>○再度入札を実施する。</p> <p>○予定価格を下回り、評価点を見積金額で除した評価値の最も高い者と契約する。</p> <p>○外部有識者から構成される総合評価委員会に報告し、審査を受けている。</p>

審議概要

意見・質問	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等（一般競争入札方式） 東京国際空港他1 空港無線施設整備要件調査</p>	
<p>○調査では電波シミュレーションを行うのか。</p> <p>○応札が可能な者は何者いるのか。</p> <p>○データ入力等が主な人件費となるのか。</p> <p>○シミュレーションソフトは各社共に同じものを持っているのか、また、各社が独自で開発したものなのか。</p>	<p>○行っている。</p> <p>○入札に参加した3者以外にも可能な者はいる。また、民間企業以外の独立行政法人も可能。</p> <p>○そのとおり。</p> <p>○各社共に公的機関が考えたものをベースとして、市販のソフトを活用し、構築していると思料される。</p>

審議概要

意見・質問	回答
<p>3. 役務及び物品（一般競争入札方式） 東京国際空港警備システム（陸上部）改修作業</p>	
<p>○製造業者保有の権利の利用許諾条件を除けば、応札が可能な者は何者いるのか。</p> <p>○汎用ハードウェアの情報について。</p> <p>○汎用ハードウェアがソフトウェアと一括調達となっていること。汎用ハードウェアについては、競争性を持たせた分割発注により、価格の低減が見込まれると思われるが如何。</p> <p>○製造業者保有の権利の利用許諾条件を付しても、競争性が成り立つとした理由。</p> <p>○この案件は次回に再度審査とする。</p>	